

2010年度 父母連第2回代表者会報告(6月)

2010年6月12日(土)

司会：浜藺 報告：高山 記録：

【出席】

- あおやぎ あさひ あずま きたうら きたや こやま さかえ
しのは しんえい しんぜん せざき たかさご にしまち ひかわ
やつか やつかかみ やなぎしま やはた
保育部会 父母連事務局

【配布物】

- ①レジュメ ②父母連ニュース第2号(世帯分)
- ③父母連アンケート記入用紙(世帯分) ④父母連アンケート集計用紙・自由意見用紙(各園1部)
- ⑤父母連アンケート補足資料(世帯分)
- ⑥オリエンテーションレジュメ(草加の保育・父母連・「代表者」について)(各園2部)
- ⑦私立病院「子ども健康教室」チラシ(世帯分)
- ⑧子育て環境の充実とゆきとどいた教育をすすめるための請願書(世帯分)

【提出物】 父母連会費

はじめに

一年間どうぞよろしく申し上げます。みなさんにはここで草加市の保育の現状や課題について情報の共有と合意形成をしていただき、それを各園に持ち帰って報告していただきたいと思っております。各園役員会等での周知徹底をお願いします。

1. オリエンテーション *オリエンテーションレジュメを参照

(1) 草加の保育・父母連・「代表者」について(担当：中島)

(2) 草加市職員労働組合保育部会より

草加市は定員の弾力化で定員の15%増の在籍児となり、小さな子供たちの集団が大きくなっているため、問題となっている。ストレスにより、子どもたちのかみつきやひっかきなどの状況が生じている。0歳児は6人、1歳児は10人、2歳児は12人、3歳児は17人、4歳児は20人未満が望ましい、などの理想はある。しかし自公政権の時は「4月における定員弾力化は定員の25%まで」と制限が設けられていたが、民主党への政権交代により「制限を国で設けるのではなく、自治体で決める」という地域主権の考え方で、国レベルでの基準を緩和し、最低基準設置は各自治体に任せるという悪い方向に向かっている。大規模園になると、互いに園児や保護者の顔も保育も見えにくくなり、事故も起きやすい。最も望ましいのは、小さな保育園(100人以下)がたくさんできることである。

育成保育も草加市公立園内で50人と増えた。その意味でも、草加市内に特別支援学校ができるのは良いこと。職員数では、臨時職員286人、正規職員210人程度というように、臨時職員数が正規職員数を上回る状況である。また技能員さんとしてシルバーさんが入ってきている。臨時職員、シルバーさんとも頑張って保育に取り組んでいただいているが、安定した人材確保や質の高い保育の実現には、正規職員が多いのが望ましい。

※民主教育をすすめる草加市民会議代表 込戸さんから

「子育て環境の充実とゆきとどいた教育をすすめるための請願書」協力をお願い

以下の4項目についての請願を実施したい

- ①草加市における「少人数学級」の早急実施。特に小3年35人学級、中2年生38人学級を目指したい。
- ②草加市に埼玉県立特別支援学校の設置
- ③保育園、児童クラブの待機児の大幅解消
- ④子ども医療費の完全無料化を中学校卒業時まで拡充

→請願書の署名用紙は、7/10の代表者会の時にご持参ください。「父母会名と署名筆数を明記の上、封筒などに入れてご提出ください。」

※法律用語としては「保育園」ではなく「保育所」ですので使い分けています

(3) 草加市をとりまく保育行政の現状について (担当：高山)

- ・現在草加市内にある保育施設は大きく分けて4つ
「公立認可保育園：18園」→私たちが通わせている保育所
「私立(民間)認可保育園：4園」→認可施設として、入園希望時に公立と同等に扱われている。
「家庭保育室：19園」→0・1才児対象の施設で草加市から認定を受けた保育室が運営。
「認可外保育施設：14園」→保育環境・条件等が国の認可保育所の設置基準に満たない施設(ただし市には指導・監督の義務がある)。認可保育所ではないので、運営に公的な補助金が導入されていない。
※父母連は公立園だけでなく、草加市の保育施設全てを対象とした活動を目指しているが、公立園以外の保育施設には父母会組織がなく、一緒に活動していくことができないのが現状。
※「草加市次世代育成行動支援計画：後期(いきいき子育て応援プランそうか)」によると、今後草加市にも「認定子ども園(幼保一体化の施設)」を作っていくことも明記されている。
- ・草加市は2010年1月に「0歳児保育施設の整備方針」を策定、今後7年間(2014年度まで)で家庭保育室を40室程度までに増やし、公立保育園での0歳児保育を段階的に家庭保育室に移行する方針を打ち出している(ただし市長は保育園の待機児がいる状態では公立園から0歳児保育をなくさないと昨年度の市長懇談会で明言している)。
- ・新たな動きとして5月7日の「保育事業説明会」にて市から「民間認可保育所の整備」に関する説明があった。国の「安心子ども基金」という時限的な財源(2010年度まで)を活用して民間認可保育所を整備しようとするもの(この基金は民間認可保育所にしか適用されない)。今後3年間(2012年度まで)で、民間認可保育園を7園作っていくという構想があることが紹介された。これに伴い、今年度については「0歳児保育施設の整備方針」に基づく家庭保育室の増室については「休止」扱いとなっている。
- ・昨日の草加市議会で、市長は「民間保育所の整備に伴い、老朽化した公立保育園1園を閉園する」旨の発言をしている。これまでにない発言であり、父母連としては重大な関心を持っていく必要がある。現在の待機児の状態では、公立保育園を閉園する理由はどこにも見当たらず、市の考え方を質す方向で検討したい。

2. 報告事項

(1) 父母連としての活動報告

- 5/16(日)「第1回代表者会」勤労福祉会館 第1会議室にて
- 5/16(日)「第25回草加市保育園父母会連合会総会」勤労福祉会館 ホールにて
- 5/27(木)「民主教育をすすめる草加市民会議総会」出席(会長：高山)
- 6/6(日)「父母連事務局会」草加市文化会館フリースペースにて
- 6/10(木)印刷作業(父母連ニュース&父母連アンケート記入用紙など)
- *あさひ父母会より、お手伝いの方3名が参加してくださいました。ありがとうございました！**
- 6/12(土)「第2回代表者会」草加市民体育館第一会議室にて
- 6/12(土)「第1回会長会」草加市文化会館 第2会議室にて

(2) 2010年度父母連アンケートの実施について *父母連アンケートなど参照

各父母会で父母連アンケート記入用紙を各世帯に配布し、回収後、集計をお願いします。市長懇談会等で、数値的な裏付けを行うための大変重要なアンケート調査です。これまでにこのアンケートを後ろ盾に様々な成果が上がっています(補足資料参照)。回収率が低いと、アンケート実施の意味が薄れてしまいますので、お忙しい中申し訳ございませんが、**各父母会で回収率を高めていただく工夫をお願いします。**

※<集計方法について>

回収世帯数/全世帯数 を記載の上、集計用紙に「手書きで集計」していただき、それを参照しながら「エクセル書式の集計用紙への入力」(Webからダウンロード)をお願いいたします。

記述式回答部分につきましては、手書きではなく、必ず「ワード書式への入力」(Webからダウンロード)をお願いいたします。

・集計済み用紙の提出は、7/10(土)の第3回代表者会の時をお願いします。

・データは7/10(土)朝までに、父母連メールへ添付ファイルで送ってください。

***ExcelとWordの書式は父母連ホームページから引き出せます！** <http://www.soka-fuboren.org>

→各園代表者の中で「インターネット接続環境がない」等の場合は事務局にご相談ください。

(3) 5/7 (金) 草加市保育事業説明会の報告 *父母連ニュースを参照

(4) 「ちいさいなかま」の購読・合研Tシャツについて

楽しくアイデアいっぱいの子育て、保育情勢や社会の動きなどにも強くなれる、子育てや生活の視点が変わります…みんなで購読しましょう！！購読料の一部が父母の活動に還元されます★

3. 協議事項

(1) 2010年度代表者連絡網について

代表者の皆さんのご要望により、今年度も父母連事務局からのメール一斉送信で、連絡網をまわしたいと思いますが、いかがでしょうか？*例年各園に配布しています

***父母連事務局からのメールが受信拒否となってしまう方は、メールフィルターの「アドレス指定受信」の設定をお願いします。ドメイン指定で「soka-fuboren.org」を受信できるようにしてください。**

(2) その他

4. 各園の父母会より

- きたうら：今年初めて保育園の役員になった。毎回同じ役員が来るのは難しいが、父母会の役員会で本日の内容を伝えたい。駐車場問題があるが、その進捗状況などについて午後の会長会で報告があると思う。
- あずま：3歳児の息子が保育園に通っている。子どもたちが楽しく通える保育にしていきたい。
- たかさご：3歳児と0歳児を預けている。今後は夏祭りなどの行事があるので、スムーズな父母会運営に努めたい。
- せざき：代表者として2年目の参加である。オリエンテーションを聞くと、知らないことがたくさんあった、と改めて感じた。アンケート回収について、今までは回収名簿にチェックをしてもらう方法にしていたが、今年度はやり方を変えて、回収名簿へのチェックはせずに、アンケートの重要性について説明した文書を添付し、アンケートの重要性を理解していただき、回収率を高めたい。
- やなぎしま：初めて入園させて、初めて役員になった。よりよい保育のために努力したい。
- しんえい：3年前の上の子の時に代表者を行ったが、今回参加して保育情勢が変わってきていることに改めて気付いた。
- にしまち：初めて参加。皆さんの意見を集めて良い保育園にしていきたい。上の子と下の子が同じ保育園に入れたので、大変に良かった。今後も保育環境の向上に努力したい。
- こやま：よりよい保育園になるよう協力して
- きたや：双子で一人はきたや保育園、一人は自閉症であおば学園に通園している。あおばの父母会は30人程度なので、なかなか運動につながらない面がある。今後あおば学園関係のことについても、この父母連を通して何か情報が得られれば、と思う。今は様々な軽度な障害を有するお子さんも多くなってきているようだ。子どもの発達状況に応じて、早めに対応していくと良いと思う。あおば学園に通っていると、子育て支援センターの療育相談は受けられない、という状況があるなど、あおば学園の子どもは東京都や松伏などの療育機関を利用している現状もある。
- あさひ：初めて役員になった。0歳児に入れなくて、保育園と家庭保育室と二か所送迎がとても大変
- やつかかみ：5歳児と0歳児の子どもがいる。0歳児保育お陰さまで0歳児保育駐車場問題が最重要事項となっており、未だ解決方法が無い状況にある。アンケート回収率が低いので、今年度も工夫していきたい。
- やはた：会長や代表者の都合が色々あり、役員ではないが、昨年度の役員として代理
- さかえ：昨年度は120名だが、現在は150名。保育士はその3歳児の31人のクラスで保育士が3名。水道が3つと少なく、手を洗うのに、とても時間がかかるなど、保育に支障が生じている。仮園舎がまだ残っているので、園庭までが遠く、気軽に外で遊べない状況が続いている。何とかしたい。
- しんぜん：代表者会は初めての参加。今までは、配布物を読んだだけではわからない内容も、説明していただくと良くわかる。園にもしっかりと伝えたい。延長保育が今年度から実施され、夜は7時までの保育実施でとても助かっている。本当に良かった。3歳児クラスの娘が家で足の指を骨折した。園長がいない状況では、預かってもらえないため、先週は登園が2回のみだった。園では事務所で過ごしていることが多い。何とか祖母に預けているが、相談したい。

※保育部会・他園：腕を骨折した際は、下のクラスに入っていたり、同じクラスで毎日登園していたが、保育の中では別行動をとっていることが多かったようだ。

■やつか：3歳児と4歳児の子どもがいる。一年間頑張っていきたい。

■あおやぎ：1歳児と4歳児の子どもがいる。認可外保育園を経て、公立を2園経験しているので、その意味でも力になれば、と思う。近隣の駐車場を借りていたが、保護者のマナーが悪いため、一年に一回でも駐車場を使用する保護者からは駐車場代を徴収し、2台分月4000円の駐車場を借りている。

■しのは：一年間は家庭保育室を経験し、その後3年間は公立に通っている。家庭保育室は父母会組織がなく、公立ではこのような組織があるので、良い。

事務局：家庭保育室のニーズも吸い上げていかなければならないので、経験者の方は是非意見をあげてほしい。

■ひかわ：初めて参加した。オリエンテーションは大変に勉強になった。

5. 今後の予定

- ・6月22日(火)19:00～「民主教育をすすめる草加市民会議 担当者会」 勤労福祉会館
- ・6月末「父母連事務局会」
- ・7月8日(木)19:30～「印刷作業」草加文化会館 ワーキングルームにて→あおやぎさん、お手伝い園
- ・7月10日(土)11:00～13:00「第3回代表者会」 草加市文化会館 第1第2研修室にて